

2011年  
9月15日発行  
第59号

# 北九州地区労連

発行：北九州地区労働組合総連合（〒802-0071 北九州市小倉北区黄金町1-4-9 山本ビル207号 TEL 921-0747 FAX 921-0284  
ホームページアドレス [http://www.geocities.jp/k\\_roren/](http://www.geocities.jp/k_roren/) Eメールアドレス [k\\_roren@ybb.ne.jp](mailto:k_roren@ybb.ne.jp)

## 北九州地区労連第23回定期大会

厳しい情勢を反映し、不当解雇闘争の訴え相次ぐ  
すべての議案と特別決議、大会宣言を満場一致で確認  
議長に中山氏を再任 新事務局長に堀田氏を信任



第23回定期大会では、震災と原発事故により財界の推し進める構造改革との対決点が明確になる中で、復興闘争と雇用闘争を結びつけてたたかうことやTPP、庶民増税反対、原発ゼロ、住宅リフォーム助成制度創設をめざすなどの課題で広範な共同を広げることが柱として、今後の一年間の運動方針、そして秋闘に向けた具体的なたたかいの基本的な意思統一をおこない確認しました。わたしたちは、「たたかう労働組合」の伝統を引き継ぎ、「憲法をいかに、なくそう貧困と格差、変えよう職場と地域、脱原発社会の実現を」のスローガンのもとで労働者要求を全面に掲げていきます。そして、たたかいで情勢を切り開き、北九州の労働者の団結をかためて、その先頭に立ち、おおいに奮闘していきます。



第23回北九州地区労連定期大会は9月11日午前10時より小倉北区の毎日会館で開かれまし



大会は代議員、組合数の3分の2を超え成立しました。議長に新屋敷(福建労)、伊藤(KOH労組)を選び議事に入りました。



写真右から中山議長、堀田副議長、入江副議長、小田事務局次長、野瀬会計監査

経過報告は堀田副議長、運動方針は入江副議長、会計報告は小田事務局次長が行いました。会計監査報告を野瀬さんが行いその後討議に入りました。発言は(裏面に)13人の方が活発に行いました。最後に新役員22名を選出し閉会しました。

- 来賓挨拶
- 県労連 土井県労連副議長
  - 北九州市民の会 三輪事務局長
  - 私教連 今橋書記長
  - 国労北九州支部 水流北九州支部長
  - 北九州第一法律事務所 田筆弁護士
  - 北九州労健連 田村代表幹事
  - 憲法ネット九条の会代表 荒牧弁護士
  - 人権連 植山県書記長
  - 日本共産党福岡県委員会 真島前県会議員他
  - 北九州市労働者支援事務所 竹内企画主任

### メッセージ

- 北九州労働者支援事務所 関門港湾労組協議会
- 北九州交通局労働組合 北九州争議団共闘会議
- 北九州青い空合唱団 福岡県勤労者教育協会
- 北九州母親大会実行委員会 新婦人小倉北支部
- 国民救援会北九州総支部 新婦人小倉南支部
- エフコープ生協労組 若松競艇従業員組合
- 憲法改悪反対共同センター 田村貴昭氏

新役員 左から 西会計監査、高崎幹事、中村幹事、西村幹事、小川幹事、安達幹事、小林幹事、永野副議長、下田幹事、道下事務局次長、中山議長、堀田事務局長

入江副議長、山口副議長、柏木幹事、亀田幹事、西岡幹事、小田事務局次長、小橋副議長、前田会計監査、一ノ瀬幹事(写真撮影係)欠席は、産別の大会に参加した藪木幹事 以上22名



### 雨あがり

台風12号が北上しだしたとき、2泊3日で長野県に向かって旅行をした。まず上高地、3つのコースの内、明神池の散策、時間に追われていそげ急げ。行きは70分歩き帰りは30分、その道中は宮崎駿のアニメのような風景、ゆっくらと歩きたい所でした。

翌日標高2700メートルの乗鞍高山お花畑、花ざかりとはいかずちょっと残念。その後安曇野のわさび園、ここは2度目、わさびのアイスクリームぐらいで見るものなし。次は善光寺、案内人の話の後、明かり一つない闇の中を歩く。壁に手を添えて歩くのだが団体なのに怖い。時間があれば山門に上りたかった。

3日目そろそろ台風の影響だ。南アルプス、中央アルプスの間にいるのに雨で全く見えない眺望列車は残念、雨が強くなる中天竜下りに向かう。事故があった所とは80キロ離れているところだそう。乗船場に着くころ雨も上がった。水量が多くて35分のところ20分で行く。しびき除けのビニールを上げる練習があり激流の中水しぶきを浴びながら楽しい舟下りだった。その裏でバスガイド、添乗員は飛行機が飛ばか飛ぶはないかハラハラしていたそう。一日違えば空港泊まりの旅だった。